



言語聴覚士による摂食・嚥下の評価

当クリニックでは、**言語聴覚士**による訪問リハビリテーションや摂食・嚥下の評価を行っています(^_^)

施設スタッフの方やご家族から以下の内容等で困っておられ評価依頼があります。

- 患者様の食事形態は適切なのか？
- 介助方法はこれで合っているのか？
- 最近、ミセが多くなってきて、誤嚥や肺炎のリスクが心配・・・。
- なかなか飲み込まずに溜め込み、食事に時間がかかってきた・・・。
- 経管栄養だけとお楽しみで少しでも食べることができないか？

などなど

～摂食・嚥下評価の流れ～

- ①主治医の指示、施設スタッフやご家族から依頼
- ②評価の日程調整
- ③食事場面などで摂食・嚥下機能の評価・アドバイスを実施
摂食・嚥下機能の評価や介助者の介助場面など観察
- ④その場で施設スタッフやご家族へフィードバック
- ⑤主治医、ケアマネジャーやご家族へ報告

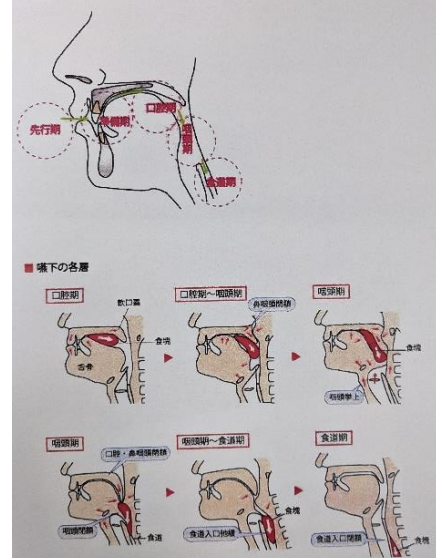
「住宅型有料老人ホーム
さくらんぼ」様で
摂食・嚥下の勉強会を
行いました！！



今回、「さくらんぼ」様の入居者様の
摂食・嚥下の評価を行いました。
施設スタッフの方々が、入居者様の食事や
摂食・嚥下への関心が高く、一緒に勉強会を
させて頂くことになりました！！

<1> 嚥下とは？

●嚥下のメカニズム



「摂食・嚥下のメカニズム」と「実際の利用者様の症状」や「食事場面の様子」を照らし合わせて、原因や対策などを説明させて頂きました
実際に食べ物や飲み物(トロミ)を使い、入居者様の立場になってみました！



こんな姿勢だと
飲み込み難いなあ
(;^ω^)
嚥下に姿勢って
大事だな。。

食事は一番の楽しみといっても過言ではありません。
その食事や摂食・嚥下に対して私たち言語聴覚士も関わることができ、有難く思います！
本人様、関わるスタッフの方々、ご家族が満足し、安心・安全に食事に関わることができるよう支援をさせて頂きます(^^)



医療法人 徳隣会
言語聴覚士 田口・笹栗

